男性育児休暇取得者と事業所側との対談【いつきの里 編】

実施日　令和５年１１月２１日

男性育休取得促進のため、実際に取得をされた方と対談形式でお話をいただきました。それぞれの対談の内容をお伝えいたします。

男性の育休取得に向けての重要なポイント

〇日ごろからのコミュニケーションが重要

〇育休取得をすることで周りの職員も仕事を覚え、スキルアップが図られる

〇お互いに感謝をしあえるきっかけづくりとして

事業所	育休取得者	管理者	フォロー職員	聞き手
いつきの里	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん

【いつきの里】

司会Dさん

本日はよろしくお願いいたします。この対談では、育休取得を報告されたときの心情や、育休中の状況、育休から復帰されたときの状況などを、育休取得をされたＡさん、事業所より管理者Ｂさん、フォロー職員Ｃさんにお伺いをしたいと思います。

育休取得者Aさん

いつきの里は若い方が多く、育児休暇を取得された方も何名もいらっしゃいました。そのときにもみんなで協力して業務を行っており、前もって皆さんにも子どもがいつ頃産まれるというお話もしておりましたので、言いにくさというのはあまりありませんでした。

取得前にも、勤務表作成者のCさんにも相談をさせていただきまして、取得時期の調整をいただいたりしていました。1か月取得したらどう？とお声かけをいただいたので、すごくありがたかったのですが、1 か月お休みとなると少し長めなのかなということと、賞与に影響してしまうのがど

うしても気になってしまいました。お金の話ばかりするのもあれですが、賞与が下がるのは知っていたのですが、厚生年金の支払い免除などがあるため、普段働いているときか、それ以上に実質いただけたので、お金の面では取得してすごくよかったなと思いました。

昨年度の研修会で前期後期の 2 回に分けると 1 か月分取得ができると聞いていましたので、2月か3月頃に再度取得をしたいということを C さんにも相談をさせていただいたところ、取得したらいいよと快くお返事をいただきました。2 回に分けて取得するという前例がなかったので、自分が取得すると今後の方も取りやすくなるのかなと思ったので、いただけるなら、子どもとちょっとでも一緒にいる時間も増やせるので、取得をしたいと思いました。

育休取得前の準備ですが、自分が抱えている仕事をお願いするときに、誰にお願いしたらよいかなと悩んでいたのですが、先輩職員から「Aさんが担当していた仕事は他の人につないでおいたから」とお話いただいて、すごく助かりました。2週間お休みから復帰したときに溜まっている仕事の処理をしないといけないなと思っていたのですが、上司が調整してくださったのですごく助かりました。本当は自分が割り振りなどしなければならなかったのですが、分担も前もって行っていただくだけでなく、2週間仕事のことは忘れて子どもとの時間を大切に過ごしてくださいとお声かけいただき、とても気持ちよく育児休暇に入ることができました。

司会Dさん

お話をお聞きして感じたのは、いつきの里さんは日頃からのコミュニケーションがしっかりしているのだなと思いました。上司からアドバイスをいただいたり、周りも助けていただける。Cさん 1 か月取得はどうですかとおっしゃった想いというのをお聞きしてよいでしょうか。

フォロー職員Cさん

育休を取得する雰囲気づくりはいつきの里はできていると思います。1 か月取得について、今まで皆さん2週間が最大の取得でしたが、個人的な知り合いから、うちの会社は 6 か月取得できる制度もあると聞いたことがあったので、いつきもそれに近づけるように、1 か月取得はどうですかと提案してみました。自分が育休取得をしていないため、お金のことは知らなかったのですが、取得できる雰囲気ができればよいのかなと思いました。

司会Dさん

Aさんとしては仕事や給与の面で悩みがあったと思いますが、不安・負担を減らして子育てに専念できるような協力体制ができるような状態になっていて、私は別の事業所の職員なのですが、すごくうれしく思いました。管理者Bさんは育休を取得するということについていかがでしょうか。

管理者Bさん

管理者の立場からすると、取得する人によって現場の影響がかなりあるという部分は気になっていました。Aさんはいろいろなお仕事を担当されているので、取得するときではなくて前もって分担を意識する方が良いですとお伝えはしたと思います。

周りのサポートについて、今になって思うことですが、フォローいただいた職員へのねぎらいの言葉をかけることがあまりできていなかったかなと思いました。分担を受けた側の職員には、今何もフォローがない状態です。育休取得者本人には仕事と家庭の両立としてメリットはあると思います。助け合い、お互い様といった気持ちはもちろん大切かとは思いますが、フォローいただいた職員へ感謝を伝えられていなかったかなと思っております。

協力体制は、今回の育休だけではなく、出向で人が抜けてしまったときなども皆さんでできていたと思います。Aさんがそういう人物だったというのもあると思います。

司会Dさん

フォローされる職員のことも気にかけられているのは感動しました。

フォローCさん

協力しあうことは大切だとは思いますが、フォローしてもらっている方のモチベーションの維持なども大切ですよね。

管理者Bさん

今回の育休取得についてもそうですが、「ありがとう」といった言葉の掛け合いは心に残るので、感謝をしあうきっかけとしても良いと思います。

司会Dさん

いつきの里さんはそういった掛け合いや支えあいができていそうな雰囲気ですね

フォロー職員Cさん

準備も早め早めにできてよかったと思います。分担をするにも引継の時間も必要になりますので、一緒にその仕事を行っていただいて、任された職員さんは頑張っていただくということで、計画しながらできたと思います。Aさんは多くの仕事を担当されていたので、私自分も何か担当をしないといけないなと思っていたのですが、角藤さんが中心となって業務の割り振り案などを提出いただいて、すごく協力的な環境だなと思いました。

司会Dさん

やはりいつきの里さんは協力しあえる雰囲気がすごいですね

フォロー職員Cさん

皆で意識して準備することは大切だなと思いました。

司会Dさん

男性が育休を取得するという報告は言いにくいということが昔はあったのですが、不安などありましたか

育休取得者Aさん

そこはありませんでした。今までいろいろな方が取得されており、2 人目 3 人目と取得された方もいらっしゃいました。その時には僕もフォローをする側で、皆で助け合いということで今までやってきたので、言いにくさというのは正直あまりなかったです。

司会Dさん

今は周りも男性育休についてご理解をいただけているのかなと思います。育休が終わって復帰されたとき、大変さや気持ちの変化などありましたらお聞かせ下さい。

育休取得者Aさん

奥さんが病院から退院して 1 週間経過した後の2週間に育休を取得させていただきましたが、すごく大変でした。奥さんが宇和島出身で、里帰りも考えたのですが、どうしても僕が、立ち合いをしたり子どもを一緒に育てたいという気持ちが強くあり、奥さんにお願いをしてこちらで産んでもらって、退院後もこちらで育児をしていただいたというところがあります。

育児を奥さんに任せっきりにせず、お仕事も育児も頑張ると思っていたのですが、子どもの夜泣きやミルクをあげたり、おむつを替えたりと大変な状態で、少し子どもが落ち着いたときに仮眠といった状態が続き、夜あまり寝ることができずに、仕事に来ることもありました。

子育て世代の職員も多いですが、自分は1人でかなりヘトヘトになっていたので、ダメだなとは思わなかったのですが、子どもが2人も3人もいる方もいらっしゃる方はすごいなと実感しました。だんだんと子どもも夜寝てくれるようになり、睡眠時間も確保ができるようになりました。仕事に来て、今日眠れていなくてつらいなと思うこともあったのですが、お金の面でもお仕事は頑張らないといけないなと思いました。

子どもの成長をすごく感じていて背が伸びていたり体重も増えていたりしています。仕事を終

わらせて早く帰りたいなと、ますます思うようになりました。正直「仕事をしている場合じゃない。子どもを早く見たい」と思ったこともあります…。とにかく仕事を早く終わらせて帰りたいなと…抱えてしまっている仕事も多く、どうやったら時間が作れるのかなと思っており、朝も子どもの対応をしてから仕事に来る状態なので、業務を効率的にすることを考えさせられました。今も仕事が溜まってしまっていて、それを処理していく状況なのですが、子どもが産まれて、効率について改めて考えさせられています。

司会Dさん

育児が大変なところがあると思いますが、いつきの里さんで育児をされながら業務をされている職員もいらっしゃると思いますが、日ごろから仕事や育児の相談などされることはありますか

育休取得者Aさん

育児についての相談が多いです。こういうときどうしたら良いですかとか、おすすめのモノありますかとか。幼稚園とか小学校に上がるくらいの子どもがいらっしゃる職員さんも多く、産まれる前からこういったモノがあったいいよとか、これは便利だよとかいろいろ皆さん情報をいただいてうれしかったです。

司会Dさん

サポートをいただける方がいるというのは心強いですね。ワークライフバランスということで家庭も仕事もどちらもうまくいくようになれば良いかと思います。復帰されたときに現場の方での変化などありましたか

フォロー職員Cさん

フォローをいただいた職員の成長にもなったと思います。役割分担をすることで、Aさんがこんな仕事をしていたのかとか、実際に業務をしていただいて力になったりとか。Aさんが育休を取得されなかったらわからなかったと思うので、離れることで知れたこともあると思います。しんどいなと思うか、自分の勉強になったととらえるかは本人次第ですが、後者の考え方の職員が多いのかなとは思います。実際に聞いたわけではないのですが。

育休取得者Aさん

おっしゃる通りで、本当は複数で仕事を行っていればよかったのですが、一人で抱え込んでしまっていたので、自分がやっていることを周りにも知っていただくことはすごく大きいと思います。そういう方は多くいらっしゃると思うのですが、助け合いがいい方向に繋がったのかなと思います。

司会Dさん

育休を取得された方もフォローいただく方もプラスの面ができるというのは良いことですね

フォロー職員Cさん

いつきの里は組織が大きいので、私自身よくあるのですが、この人しかできないとか知らないというのではなく、周りに伝えることは大切かなと思います。自分でする方が早いし責任のこともあると思いますが、自分がいないときでもきちんと業務が回るようにするのは大切ですね。利用者支援についても全く同じことが言えます。

司会Dさん

皆さんで協力していく雰囲気ができている、とても素晴らしい職場だと思いました。本日はご協力いただきましてありがとうございました。